

The JSW logo is rendered in a bold, teal-colored, sans-serif font. It is positioned in the upper right quadrant of the page, set against a dark, industrial background of a steel mill. The background features large, glowing cylindrical objects, likely steel coils, and a bright light source that creates a lens flare effect. The overall atmosphere is one of intense industrial activity.

# JSW

■証券コード5631

## 第83期中間報告書

平成20年4月1日～平成20年9月30日



株式  
会社

日本製鋼所



代表取締役社長

永田昌久

株主の皆様には平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社の第83期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)中間報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当第2四半期におけるわが国経済は、米国の

サブプライムローン問題に端を発した世界的な金融不安から、設備投資や個人消費も弱含みで推移し、拡大を続けてきた景気にも停滞感が生じるなど、企業収益に与える影響が懸念される状況となりました。

このような環境の下、当社グループは平成19年に改定した中期経営計画(J2008改)に重点目標として掲げている「業容の拡大」「資産効率の向上」「CSRの推進」に基づき、海外の電力・石油等の旺盛なエネルギー需要に応えるための生産能力拡大・効率化のための設備投資を着実に実施していることに加え、売上の拡大、生産効率化による原価低減、原材料価格高騰を反映した製品代価の是正、売掛債権の早期回収と前受金の受領を進めるとともに、たな卸資産の適正化等に努め、収益の一層の向上と財務体質の強化を目指して取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期の連結受注高につきましては、機械製品関連事業が増加したものの鉄鋼製品関連事業が減少しましたので1,349億

55百万円、連結売上高につきましては、機械製品関連事業は減少したものの鉄鋼製品関連事業は引き続き堅調に推移しましたので、1,095億98百万円といずれも前年同期と同水準となりました。

損益面につきましては、上記諸施策を実施した結果、連結営業利益は7億51百万円(4.5%)増の174億71百万円、連結経常利益は13億68百万円(8.5%)増の174億43百万円、連結四半期純利益は1億63百万円(1.7%)増の97億11百万円となりました。

当社グループの利益配分につきましては、株主の皆様への期間利益に応じた配当及びその向上に努力しつつ、長期的かつ安定的な事業展開のために設備投資、技術開発、財務体質の強化に資するための内部留保の充実に努めることを基本姿勢としております。

当期の中間配当金につきましては、上記方針を勘案し、1株につき6円とさせていただきます。

今後の見通しにつきましては、当第3四半期以降、金融危機に伴う実体経済への影響が出始め

ており、先行きの不透明感が増してきております。

このような状況の中、機械製品関連事業の一部製品には足元の需要環境に敏感に反応する製品はあるものの、世界のエネルギー需要増大、地球環境温暖化を背景とした当社グループ製品の需要環境は、引き続き堅調に推移することが予想されます。

これにより第83期通期の業績は、連結売上高2,380億円、連結営業利益358億円、連結経常利益350億円、連結当期純利益195億円といずれも改定中期経営計画(J2008改)の計画値を上回るものと予想しております。

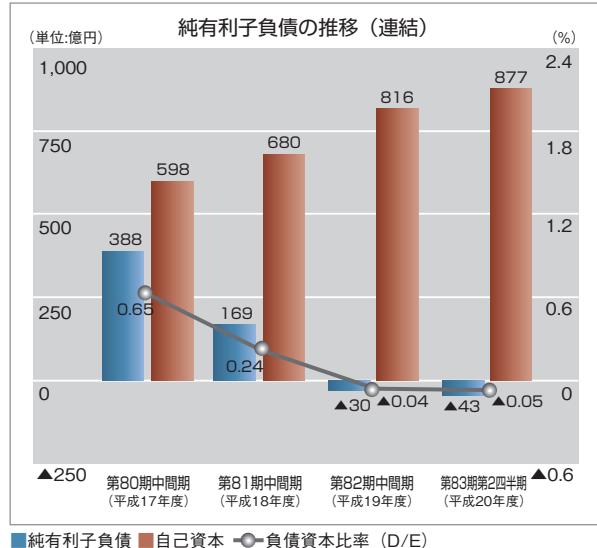
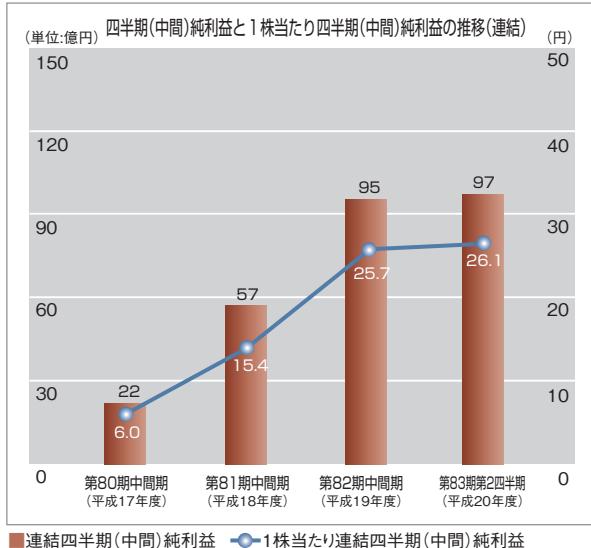
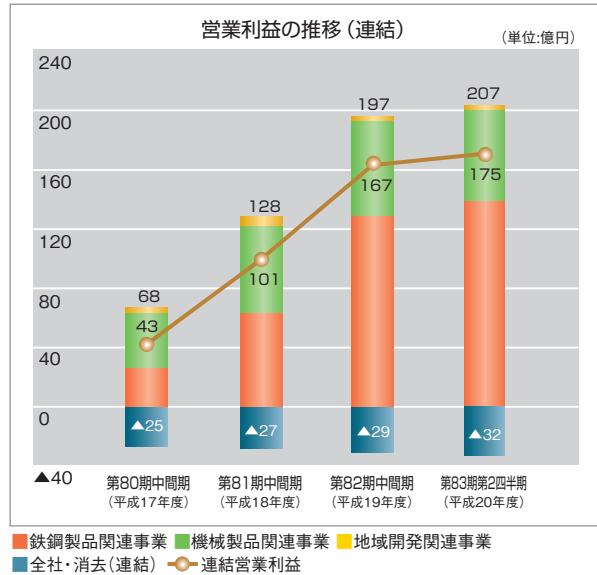
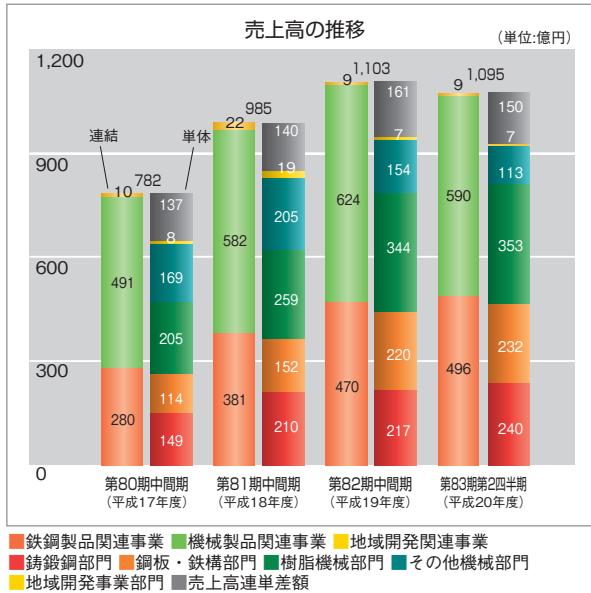
株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## C O N T E N T S

株主の皆様へ	1	連結財務諸表	5
決算ハイライト	3	トピックス	7
事業の概況	4	株式・会社情報	9

表紙写真：当社室蘭製作所にて鍛錬作業中の超大型発電機軸材  
(詳細はトピックス)

# 決算ハイライト



## 事業の概況

当第2四半期の事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

### 鉄鋼製品関連事業

受注高につきましては、発電プラント用部材及び石油精製用圧力容器が引き続き好調に推移しましたが、天然ガス田用パイプライン向けクラッド鋼管のプロジェクトの端境期が続き、前年同期比42億76百万円(6.0%)減の671億53百万円となりました。

売上高につきましては、クラッド鋼管が減少したものの、発電プラント用部材及びクラッド鋼板が好調に推移しましたので、前年同期比26億83百万円(5.7%)増の496億94百万円となりました。

営業利益は、生産の増加に伴う稼働率の向上に加え原価低減、製品代価の是正等を推し進めた結果、前年同期比12億80百万円(10.0%)増の140億74百万円となりました。

### 機械製品関連事業

受注高につきましては、樹脂加工機械の大型案件及びプラスチック射出成形機が減少したも

の、風力発電機器が大幅に伸長しましたので、前年同期比34億50百万円(5.4%)増の668億95百万円となりました。

売上高につきましては、樹脂製造機械が堅調に推移したものの、石油化学プラント向け圧縮機並びに風力発電機器が減少しましたので、前年同期比34億47百万円(5.5%)減の589億97百万円となりました。

営業利益は、売上の減少に加え部品価格等の高騰による影響を受け、前年同期比2億91百万円(4.4%)減の62億66百万円となりました。

### 地域開発関連事業

受注高は9億8百万円、売上高は9億6百万円となり、いずれも前年同期並となりました。

営業利益につきましては、前年同期比36百万円(10.2%)増の3億90百万円となりました。

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期	前 期
	平成20年9月30日現在	平成20年3月31日現在
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	178,813	168,663
現金及び預金	32,504	36,552
受取手形及び売掛金	54,333	52,062
たな卸資産	79,516	66,815
その他	12,792	13,549
貸倒引当金	△ 333	△ 315
固定資産	109,658	93,789
有形固定資産	78,282	61,277
無形固定資産	1,363	623
投資その他の資産	30,011	31,888
資産合計	288,472	262,453

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期	前 期
	平成20年9月30日現在	平成20年3月31日現在
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	155,342	136,308
支払手形及び買掛金	51,785	48,732
短期借入金	7,375	6,218
1年内返済長期借入金	2,606	2,105
1年内償還社債	15	30
未払法人税等	7,150	9,975
前受金	52,240	49,018
その他	34,169	20,228
固定負債	45,423	40,913
社債	10,000	10,000
長期借入金	8,238	10,239
退職給付引当金	5,909	5,484
その他	21,275	15,188
負債合計	200,765	177,221
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	90,476	83,472
資本金	19,694	19,694
資本剰余金	5,424	5,422
利益剰余金	65,531	58,492
自己株式	△ 172	△ 137
評価・換算差額等	△ 3,002	1,514
その他有価証券評価差額金	△ 2,414	1,930
繰延ヘッジ損益	△ 338	△ 254
為替換算調整勘定	△ 249	△ 160
少数株主持分	232	244
純資産合計	87,706	85,231
負債及び純資産合計	288,472	262,453

(注) 金額は、百万円未満を切捨表示しております。

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期	前中間期(参考)
	平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで	平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで
売上高	109,598	110,393
売上原価	77,863	79,743
売上総利益	31,734	30,650
販売費及び一般管理費	14,263	13,929
営業利益	17,471	16,720
営業外収益	974	595
受取利息	73	48
受取配当金	338	182
雑収益	562	342
営業外費用	1,001	1,240
支払利息	223	251
退職給付会計基準変更時差異	346	346
雑損失	431	989
経常利益	17,443	16,075
特別利益	8	2,058
特別損失	1,262	1,437
税金等調整前四半期(中間)純利益	16,190	16,696
法人税、住民税及び事業税	7,014	8,330
法人税等調整額	△ 536	△ 1,196
少数株主利益	0	14
四半期(中間)純利益	9,711	9,548

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期	前中間期(参考)
	平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで	平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,096	13,829
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,951	△ 3,203
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,257	△ 6,916
現金及び現金同等物の増減額	△ 4,158	3,731
現金及び現金同等物の期首残高	36,133	27,473
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	99	—
現金及び現金同等物の四半期末(中間期末)残高	32,074	31,204

### 連結財務諸表作成にあたって

当期から四半期開示制度に伴う会計基準の変更により、連結損益計算書ならびに連結キャッシュ・フロー計算書につきましては、第2四半期累計期間の業績について掲載しております。

前期以前の中間期の数値については、参考数値として掲載しております。



フラマンビル原子力発電所3号機向けに納入した  
史上最大の発電機軸材

## 仏の原子力発電所向けに、超大型の発電機軸材を納入



原子力発電は二酸化炭素を排出しない電力として注目されていますが、当社は絶対的な安全性が求められる原子力発電向けに、信頼性の高い、高品質な鉄鋼製品を数多く供給しております。

この度、フランス・フラマンビル原子力発電所3号機向けの超大型発電機軸材(鍛鋼品)を納入致しました。溶接等によらない一体型の超大型軸材は現状当社のみが製造可能であり、世界最大600トン鋼塊から製造したこの軸材は完成重量も史上最大であります。当社はこれまでに培った高品質な大型鉄鋼製品の製造技術を更に進化させ、これからも世界の安定した電力供給を支えて参ります。

## 上海に押出成形機等のアフターサービスのための現地法人を設立



10月1日に営業を開始した  
日製鋼機械商貿(上海)有限公司

10月1日に営業を開始致しました。

今後も継続して顧客満足 of 更なる向上に努め、企業価値の増大に取り組んで参ります。

当社は世界No.1の総合樹脂機械メーカーを目指し、大型造粒機、コンパウンド用2軸押出機、フィルム・シート製造装置をはじめとする数多くの樹脂機械を、過去数十年に亘り中国に納入して参りました。今後更なる伸張が期待される同国市場において、アフターサービスの充実により顧客満足を高め、樹脂機械事業の発展に繋げることを目的とし、本年7月15日、当社全額出資のサービス会社『日製鋼機械商貿(上海)有限公司』を設立、10月1日に営業を開始致しました。

## 風力発電機J82：好調な受注を受けて増産体制を整備中

当社は日本の風況に適合した風力発電機J82を製造・販売しておりますが、再生可能エネルギー分野における風力発電への期待が高まる中、好調な受注を継続しております。

この好調な受注環境を受け、年産30基を計画しておりました生産体制を増強し年産80基体制を今年度中に整備すると共に、2010年度には年産150基体制を構築すべく、取り組んで参ります。また、風力発電機の安定した稼働に不可欠なメンテナンスサービスを、全国にサービス網を持ち24時間の監視が可能な株式会社明電舎殿に委託することと致しました。

安定した性能と充実したアフターサービスにより風力発電機の稼働率向上を実現し、お客様の事業採算性の向上と、地球環境問題解決への貢献に取り組んで参ります。



受注が好調な風力発電機J82

# 株式・会社情報

## 株式の状況 (平成20年9月30日現在)

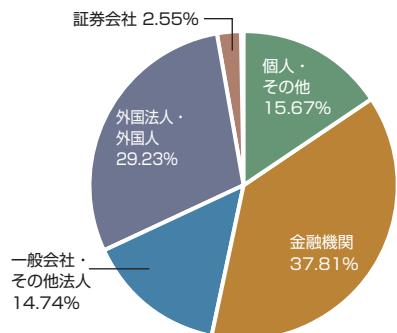
発行可能株式総数	1,000,000,000株
発行済株式総数	371,463,036株
株主数	27,152名

## 大株主 (平成20年9月30日現在)

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	出資比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	27,224	7.33
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	20,481	5.52
クレジット スイス チューリツヒ	18,560	5.00
三井生命保険株式会社	12,438	3.35
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	11,560	3.11
株式会社三井住友銀行	11,000	2.96
中央三井信託銀行株式会社	11,000	2.96
三井住友海上火災保険株式会社	8,824	2.38
株式会社日立製作所	5,050	1.36
三菱重工株式会社	5,031	1.36

(注) 出資比率は、発行済株式総数から自己株式(250,901株)を控除して計算しております。

## 所有者別分布状況 (平成20年9月30日現在)



発行済株式総数 371,463,036株

## 会社の概要 (平成20年9月30日現在)

創業	明治40年11月1日
設立	昭和25年12月11日
資本金	196億9,423万561円
従業員数	1,993名(就業員数)

## 主要な事業内容

部門	主な事業	
鉄鋼製品 関連事業	鋳鍛鋼	発電用品、鉄鋼用品、化学機械用品、原子力関連機材、電子材料用素材、金型材等の製造・販売
	鋼板・鉄構	石油精製・石油化学・一般化学用品、発電用品、その他各種圧力容器、クラッド鋼板、クラッド鋼管、その他極厚鋼板等の製造・販売
機械製品 関連事業	樹脂機械	プラスチック射出成形機、中空成形機、その他合成樹脂製造・加工機械(造粒機、コンパウンド用押出機、フィルム・シート製造装置等)の製造・販売
	その他 機械	流体機械、油圧機器、電子部品・ディスプレイ製造関連機器(レーザアニール装置、ラビング装置等)、金属産業機械(プレス、マニプレータ等)、廃棄物処理装置(廃プラスチック脱塩素処理システム等)、マグネシウム合金射出成形機、風力発電機器、防衛関連機器等の製造・販売・修理
地域開発関連事業	地域開発事業	不動産賃貸事業、不動産開発分譲事業等

## ■取締役及び監査役 (平成20年9月30日現在)

代表取締役社長	永田昌久
代表取締役副社長	岩館忠雄
代表取締役副社長	野村英雄
代表取締役専務取締役	岩下壽夫
常務取締役	五十嵐敦一
常務取締役	吉野勇弘
常務取締役	打越光弘
常務取締役	佐藤育男
取締役	上原誠
取締役	岸修
取締役	田中義友
取締役	戸田信一
取締役	村尾孝夫
取締役	村井悦隆
取締役	石堂隆雄
常勤監査役	湊宣治
常勤監査役	上谷建久
常勤監査役 (社外)	中康
監査役 (社外)	田上達郎

## ■会計監査人 (平成20年9月30日現在)

東京都千代田区内幸町二丁目2番3号 日比谷国際ビル  
新日本有限責任監査法人

## ■主要関連会社の概要 (平成20年9月30日現在)

会社名	資本金	出資比率 (%)	主要な事業内容
日鋼商事株式会社	100百万円	100	鉄鋼製品、機械製品、鉄鋼原料等の販売
ファインクリスタル株式会社	880百万円	100	人工水晶及び加工製品の製造・販売
日鋼情報システム株式会社	120百万円	100	コンピュータシステムのコンサルティング・技術指導、システム受託開発、機器販売、情報処理サービス事業
日鋼特機株式会社	100百万円	100	防衛関連機器等の整備、部品の販売
株式会社日鋼機械センター	100百万円	100	鉄鋼製品及び産業機械等の製造・修理・販売
日鋼テクノ株式会社	200百万円	100	鉄・非鉄金属素材、特殊合金素材の機械加工・熱処理加工・溶接・製缶・仕上・組立及び加工品の製造・販売
常陽工学株式会社	25百万円	100	IT関連装置の設計・製造・販売、工学技術研究サービス事業、表面加工技術コンサルタント事業、精密工学機器の販売
株式会社タハラ	50百万円	100	合成樹脂加工機械、印刷機械、製袋機及び工作機械器具の製造・販売
JSW ITサービス株式会社	100百万円	100	レーザーニール装置の修理、改造、移設及びメンテナンス
日鋼設計株式会社	25百万円	100	諸機械製品の設計、製作、施工、販売、修理
JSW樹脂機械サービス株式会社	100百万円	100	樹脂機械及び一般産業機械の設計、製造、据付及びサービス
JSW Plastics Machinery, Inc.	250万米ドル	100	射出成形機の販売・技術サービス
Japan Steel Works America, Inc.	100万米ドル	100	鉄鋼製品及び機械製品の販売
JSW Plastics Machinery(S)Pte. Ltd.	400万シンガポールドル	100	射出成形機の販売・技術サービス

(注) 連結子会社は、上記の子会社を含む36社であり、また、持分法適用会社は、このほか1社であります。

## ■ネットワーク (平成20年9月30日現在)

### 【本社・支店・営業所】

本社 東京都品川区大崎一丁目1番1号  
TEL. (03) 5745-2001 (大代表)  
FAX. (03) 5745-2025

支店・営業所 関西支店 (大阪市)、九州支店 (福岡市)、  
名古屋支店 (名古屋市)、中国支店 (広島市)、  
札幌支店 (札幌市)、東北営業所 (仙台市)、  
北関東営業所 (川口市)、南関東営業所 (横浜市)、  
長野営業所 (岡谷市)、関西営業所 (吹田市)、  
佐野出張所 (佐野市)、浜松出張所 (浜松市)

### 【海外事務所】

デュッセルドルフ、テヘラン、シンガポール、北京、上海

### 【研究所】

室蘭研究所 (室蘭市)、機械研究所 (広島市)、横浜研究室 (横浜市)

### 【工場】

室蘭製作所 (室蘭市)、広島製作所 (広島市)、横浜製作所 (横浜市)

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
配当受領株主確定日	毎年3月31日 なお、中間配当を実施するときの中間配当受領株主確定日は9月30日
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	毎年3月31日
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱所	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (〒168-0063) 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
同取次窓口	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店
公告掲載方法	東京都内で発行する日本経済新聞
単元株式数	1,000株
上場証券取引所	東京(1部)、大阪(1部)、名古屋(1部) 福岡、札幌

### 株券電子化実施後の手続のお申出先について

平成21年1月5日(月曜日)から、上場会社の株券電子化が実施される予定です。これに伴い、上場会社の株券はすべて無効となり、株主様の権利は電子的に証券会社等の金融機関の口座で管理されますので、以下のとおり手続のお申出先が変更となります。

#### 1. 株券電子化後の未払配当金の支払のお申出先

これまでどおり、株主名簿管理人にお申出ください。

#### 2. 株券電子化後の住所変更、単元未満株式の 買取・買増、配当金受取方法の指定等のお申出先

- ① 証券保管振替機構(ほふり)に株券を預けられている株主様：お取引証券会社等
- ② 証券保管振替機構(ほふり)に株券を預けられていない株主様：

特別口座を開設する下記口座管理機関

なお、②に該当される株主様につきましては、証券会社等のご本人様口座への振替請求を含めまして、お申出を受付けることができるのは、特別口座に記録される予定日であります平成21年1月26日(月曜日)からとなりますのでご了承ください。

#### 記

- ・口座管理機関 東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
- ・同ご照会先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
郵便物送付先 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部  
電話照会先 0120-78-2031(フリーダイヤル)
- ・同取次窓口 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店  
日本証券代行株式会社 本店および全国各支店

### ホームページのご案内



当社の企業活動、商品などに関する詳しい情報につきましては、「株式会社日本製鋼所ホームページ」でご覧いただけます。こちらもどうぞご利用ください。

<http://www.jsw.co.jp/index.html>

### 株券電子化実施前後の単元未満株式の 買取・買増請求のお取扱いについて

株券電子化制度への移行に伴い、ほふりに株券を預けられていない株主様に関しまして、以下の期間お取扱いを変更させていただきます。

- ①単元未満株式の買取請求につきましては、平成20年12月25日(木曜日)から平成21年1月4日(日曜日)(実質平成20年12月30日(火曜日))までに受付したものの買取代金の支払は平成21年1月26日(月曜日)とさせていただきます(買取価格をご請求日の終値となります。なお、平成20年12月30日までに値が付かない場合は返却させていただきます。)。また、平成21年1月5日(月曜日)から平成21年1月25日(日曜日)までの間、単元未満株式の買取請求の受付を停止します。
- ②単元未満株式の買増請求につきましては、平成20年12月12日(金曜日)から平成21年1月25日(日曜日)までの間、受付を停止します。

なお、ほふりに株券を預けられている株主様に関しましても、株券電子化直前に単元未満株式の買取請求・買増請求の取次停止期間が設けられますが、詳細はお取引証券会社等にご確認ください。



この冊子は、環境に配慮し、再生紙と大豆油インキを使用しております。